No. 5　2006.5.15

歴史ロマン古道ニュース

REKISHI KOKAIDODAN

【発行】歴史古街道団
ホームページ http://homepage3.nifty.com/kokaido/

事務局 〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘4-36-21
APT1・2・3-302
TEL/FAX 042-389-5534
宮田太郎（歴史古街道団 団長）

華厳院坂のフェンス左脇に残る鎌倉古道跡（写真左）と　昔の面影を残す華厳院坂（写真右）【東京都町田市野津田】

華厳院坂の古道を守ろう

町田市野津田地区

拡幅工事で消滅の危機

市民と共に現状保存を市に要望

多くの古代国道が交錯し「古道のゴールデンクロス」として歴史ファンに愛されている町田市・野津田公園。いま、新緑の季節を迎え、スポーツ施設利用者や緑の散策を楽しむ家族連れで賑わっているが、この公園南入口にある華厳院坂の古道が町田市の拡幅工事計画により消滅するおそれがあるため、歴史古街道団は環境保護団体など、関係市民と共に現状保存を訴えています。

幅員１２メートルに拡幅

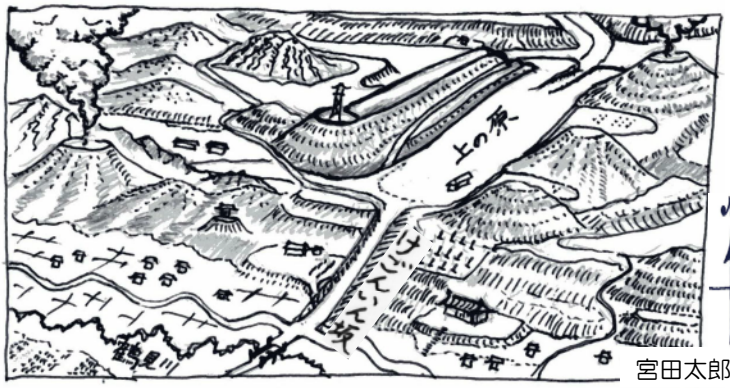
市の計画によると、通称・華厳院坂というこの道路は市道・鶴川340号線。芝溝街道との接点（野津田町2160-3）から全長1,345㍍のうち、始点から公園入口部まで300㍍区間を整備しょうというもの。　内容は現状の道を10～12㍍に拡幅し、東側に車道5㍍、西側に5㍍（公園入口部分8㍍）の遊歩道と植栽を設けアスファルト舗装の予定。

現状は狭い掘割状態のため、両側壁面を削り低地は埋立て、排水設備を含め道路築造する。目的は野津田車庫方向から来園する歩行者のアクセスと通り抜け車の安全確保。現在は計画段階だが一部住民には説明済みという。

上の原は“古街道が集まる丘”

新編武蔵風土記稿に古くは「野の蔦（つた）」と書いたと記される野津田は、古代から多摩丘陵を越える交通の要衝と考えられている謎とロマンに満ちた地域。平成10年11月の発掘で国内最大級といわれる中世鎌倉街道跡（推定鎌倉古道）が出現したほか、東国から箱根・足柄峠を越えて都へ向かう推定古代東海道、軍事鎌倉道などが、この丘を縦横に交錯していたのだ。　そして華厳院坂には七国山方面から武蔵国府へ行く多くの古代道が集中し、今も古代の面影を残す貴重な坂道となっている。

この公園には東・西・中央と三つの駐車場があり、華厳院坂にも既にスレ違いの退避所が設けられ付近住民の車両通行に支障は無さそうだ。むしろ華厳院坂は現状のまま「歩行者優先歩道」としてバス来園者の安全を期し、代わりに周辺の道を舗装整備する方法もある。私たち歴史と緑と自然を守る市民グループは、引き続きガイド実践講座などを行い現況を啓蒙する活動を展開していきます。



宮田太郎・画

№5

黒曜石ロードを新緑の甲州路へ

鎌倉古道の里、小野路で団員サマー交流会開催　8/5(土)

初夏から初秋のウォーキング(2006/６月～９月)

＊共通事項（雨天時の催行、持ち物、参加費）は予定の最後をご覧下さい

■６月４日（日）

多摩古道･探索ウォーキング

緊急企画！団員＆一般参加　現地集合ウォーキング（兼･ガイド実践講座）

古街道の集まる野津田の丘
古街道の切通し”
「華厳院坂の鎌倉古道と
古代東海道跡を守ろう！」
〔東京都町田市
野津田公園･上の原広場周辺編〕

【内容】鎌倉街道上道（鎌倉古道）は上野国府と武蔵国府～鎌倉を結ぶ大幹線道路。その痕跡は戦後もまだ各地に残されていましたが近年の開発で僅かとなりました。その中で奇跡的とも言える良好な古道残存地域が町田市の小野路と野津田地区。特に、野津田公園内の上の原･華厳院坂は貴重な「鎌倉古道の切通し」が残り、いまや鎌倉とここだけに残すのみといっても過言ではありません。歴史の丘としての環境がそのまま残されているのです。

ところが今そこにある鎌倉街道跡と推定･古代東海道（防人の道）跡が重複する「華厳院坂」が市と一部住民が計画する不要としか思えない道路拡幅工事で失われる危機に直面しています。そこで、緊急にそこにはどんな古道跡があり、どのように貴重な文化遺産なのかを学ぶウォーキングを開催します。

【コース】「永山駅」小田急改札口前９：００集合（または野津田公園陸上競技場脇駐車場１０：００集合＊Ｐ有り）～上ノ原広場（推定・古代東海道と鎌倉街道上ノ道本路跡）～昼食（各自弁当持参）～周辺散策（発掘現場跡、推定中世軍事駐屯地、古代牧跡ほか）と現地ガイダンス～解散後、神奈中バス野津田車庫から町田・鶴川駅へ。または五反田バス停から永山・聖蹟桜ヶ丘・多摩センター駅へ

＊申し込み不要　＊共通事項参照

■６月２８日（水）

多摩古道･探索ウォーキング

幻の『古代甲州道』を探る～その4
多摩から奈良の都へ、
もう一つの古代国道
【神奈川県相模原市橋本･森の上～相模川清流の里･大島諏訪神社編】

【内容】武蔵府中～多摩ニュータウン大栗川流域～相模原～津久井湖～相模湖～八ヶ岳山麓～諏訪湖～都へ続く幻の古道「古代甲州道」の存在を検証していく探索シリーズ。今回はいよいよ相模原台地から相模川を渡ります。相模野の最後の平原を走る古道（市境線）が津久井湖に向かって一直線に設計されていることに誰もが感動することでしょう。相模野は昔から水が出ない「野っ原」といわれながら橋本の森の上や二本松一帯の地表には奈良平安時代頃の土器がたくさん落ちています。それはかつて、この付近が森林地帯で保水力が高かった事を物語るのでしょうか（鎌倉＆江戸の街の用材伐採で木がなくなった？！）黒曜石を八ヶ岳からもたらせた縄文文化交流道でもある幻の甲州道を相模野奥地から相模川渡河点に探り初夏の涼風を感じましょう。

【コース】ＪＲ橋本駅改札口前９：４５集合～三ケ木行き路線バスで橋本・森の上～めいめい塚～川尻八幡神社直線参道と大規模な古道痕跡～青少年グラウンド（各自弁当昼食）～古道のゴールデンクロス（城山町と相模原市の境界Ｌ字地点）～津久井城へ続く古代甲州道～大島諏訪神社（石楯尾神社論社）～相模川清流の里～路線バスで橋本駅。解散予定は橋本駅 16:00 頃　アップダウン少ない（行程約５キロ）

＊申し込み不要　＊共通事項参照

■７月１１日（火）

多摩古道･探索ウォーキング

【東京都町田市小野路】
古街道の里“小野路”徹底研究！
その深い歴史を知ろう！〔その1〕

【内容】町田市の小野路(おのじ)は緑豊かな山林や畑が広がる美しい里。数多くの主要な古街道が集まり早くから開けた宿場町。平安時代に琵琶湖西岸を本拠地とする小野氏が国司として赴任し土着した古代の牧場地帯「小野牧」関係地。新選組ゆかりの地としても有名。春には桃源郷のような景観が広がる。

かつて源頼朝や義経、足利尊氏、日蓮や親鸞、西行、芭蕉が往来し、また徳川家康の遺骨を運んだ千人行列が日光に向けて通過、江戸期には絹の道や大山街道の里として賑わったこの里の深い歴史の数々と謎を探ります。「まず小野路を知ることが多摩古道を知る事の手始めなり」～です。

【コース】多摩センター駅小田急改札口前に９：３０集合～路線バスで鶴牧５丁目～南野ゴルフ近くの石仏群～よこやまの道と奥州古道～小野路浅間神社～奈良ばい～小野路城～小野小町井戸～都立小山田緑地公園（各自弁当昼食）～馬場窪と謎の土塁～奈良ばい～小野路辻～バスで多摩センター駅　解散予定 15:50 行程約５キロ

＊申し込み不要　＊共通事項参照

■７月２３日（日）

歴史ロマン探索ウォーキング

【東京都調布市深大寺】
深大寺の鎌倉道と
高句麗仏教伝説ロマンを探る

〔内容〕調布市北部の深大寺は武蔵野台地から湧く名水の里。

深大寺そばの由来や深大寺周辺の伝説･古刹の歴史を探っていくと古代の渡来系開拓民たちの活き活きとした暮らしの息吹きが実感できます。これまでに誰も書かなかった不思議な寺院と神社の配列や関東の飛鳥奈良仏教聖地の謎を現地にたどり、美味しいそばで夏の体力をつけましょう。

〔コース〕京王線「調布駅」北口パルコ１Ｆ入口前に９：３０集合～路線バス深大寺行きで御塔坂下～鎌倉道～元三大師堂～福満と長者の娘逢瀬の亀池～深大寺境内(白鳳仏釈迦如来ほか)～昼食（蕎麦屋で自由）～青渭神社～深

八ヶ岳連峰

大寺城～虎柏（狛）神社～禅寺丸柿古木～佐須バス停～調布駅
＊申し込み不要＊共通事項参照

■９月２３日（祝）

多摩古道･探索ウォーキング

【多摩市唐木田～町田市小山田】

小山田の奥州古道と大泉寺の歴史ロマンを歩く

〔内容〕防人が九州での任期を終えて帰郷する際に使った奥州古道は、平安時代には源頼義や八幡太郎義家、坂上田村麻呂が往来した国家的国道でした。町田市の小山田のゴルフ場内に残るその踏み跡断面（地下の遺構が露出）や鎌倉街道･平山城址～小山田ルートの推定ルートを緑豊かな田園の中にたどります。また山間に隠れるように存在する大泉寺は、忘れかけた懐かしき風景を誰にでも思い起こさせてくれることでしょう。

〔コース〕小田急多摩線･終点「唐木田駅」改札口前に10：00集合～
大妻大学裏のよこやまの道～鎌倉街道平山ルート～小山田氏の案内板～語り部の丘～奥州古道と踏み跡痕跡～小山田緑地（各自弁当昼食）～梅木窪～大泉寺～鶴牧団地バス停または唐木田駅解散 16:00 頃（行程約５キロ）
＊申し込み不要　＊共通事項参照

共通参加事項

◆雨天の場合は基本的には中止（ただし小雨の場合実施することがあります。ウォーキング日は朝７時半までに実施か否かを本部事務局（ＴＥＬ042-389-5534）までお問い合わせ下さい。（それ以降は宮田団長の携帯電話 090-7002-3431 まで）
◆参加費＝共通事項参照とある場合は
団員 700 円（ご夫婦は二人で 1,000 円）
一般は一人 1,000 円。
◆その他＝雨具持参（晴れでも携帯下さい）飲み物持参　昼食は飲食店利用の場合と各自弁当の場合がありますので詳細は各案内をご覧下さい。

鎌倉古道の里/団員サマー交流会

小野路を学び･語り･遊ぶ

大人の夏休み IN　ピアノカフェ

【東京都町田市小野路】

８月５日（土）12:30 集合
☆参加は団員のみ
☆集合場所：
　多摩センター駅･小田急改札口前
☆参加費：1，５００円･飲み物付き（食事の用意はありません）

〔内容〕多摩丘陵は小野路の緑豊かな丘にある「ピアノカフェ・ショパン」はグランドピアノや木工家具･アートが展示されたおしゃれで快適な交流空間。
　ここは知る人ぞ知る歴史古道ウォーキングの中継基地なのです。小野路に遊び小野路に浸る“大人の夏休み”を満喫しましょう！建物の裏手がもう鎌倉裏街道（新選組・土方歳三出稽古の道）の古道跡です。〔申し込み制〕

【コース】路線バスで南野高校前～一本杉公園と大山街道跡～鎌倉裏街道跡～「ピアノカフェ CHOPIN ショパン」（交流会＆ミニピアノ＆トークコンサート＊回文作家小宮春吉＆宮田太郎）～鎌倉裏街道ミニ探検～小野路バス停 16:00 または 16:50 発多摩センター駅行き～多摩センター駅

《申し込み方法》先着順４０名
FAX：042-389-5534（本部事務局）または FAX：042-337-4291（企画部･小島）まで住所・電話・氏名・人数・交流会参加と書いて御送り下さい。またはウォーキング時に直接事務局担当までお申し出下さい（担当：企画部・小島）但し、定員になり次第締め切らせて頂きますのでご了承願います。

“さきもりまつり 2006”
古代万葉人の記憶

11/23（祝）

多摩ならではの歴史と古道による町おこしの祭りを成功させよう！

■８月１３日（日）

【参加者説明会】

さきもりまつり 2006 古代万葉人の記憶

あなたが防人
そして見送る妻になる～
万葉時代まつりＩＮ多摩
準備会始動！

〔内容〕昨年の 11 月 23 日勤労感謝の日に府中と聖蹟桜ヶ丘から２班に分かれて出発し多摩ニュータウン永山の尾根で実施した「さきもりまつり」は大好評のうちに終了し、また来年もという声が数多く寄せられました。
そこで今年も11月23日勤労感謝の日に“さきもりまつり 2006 古代万葉人の記憶”と称して開催することに決定。今年は希望者に衣装を着て峠越えを体験していただく企画と、万葉歌を学び朗詠し古代びとの温かく豊かな心に触れる企画の二つを実行します。つきましては第１回準備会並びに説明会を開催します。どなたでもお気軽にご参加下さい。

■９月１０日（日）
“さきもりまつり２００６”
参加者合同会議

〔内容〕秋の“さきもりまつり 2006”（11月２３日）のためのグループ分けと打ち合わせ会。実質的な活動の予定や作業を確認します。

さきもりまつり 2006 準備会
8/20（日）、9/10（日）共通参加事項
〔時間〕１３：３０～１６：３０
〔会場〕「たま･まち交流館」
（多摩センター駅前･三越向かい、ワーナーマイカルシネマの地下1階）
〔参加協力費〕一人３００円（お茶代・会場費ほか）〔申し込み〕不要

さきもりまつり 2006
サポートスタッフ
大募集中！

飛鳥古代史ロマン旅行（朝日カルチャー東京主催）
と
八ヶ岳山麓への日帰り探検旅行

飛鳥まほろばの里、古道探検の旅

1泊2日　飛鳥古代史ロマン旅行〔同行講師：宮田太郎〕
〔歴史古街道団企画協力、朝日カルチャー東京主催〕

【写真】箸墓古墳（奈良県・三輪）

■6月22日（木）～23日（金）
■定員23名

【コース】１日目＝東京発～京都駅集合～三笠山山頂まほろば展望の丘と春日大社～纏向遺跡（まきむくいせき）周辺（箸墓古墳、ホケノ山古墳、三輪そうめん他）～山辺の道～崇神・景行天皇陵～檜原神社　２日目＝石上神宮～大神神社～飛鳥浄御原宮跡～高松塚古墳ほか～天香具山と大麻止乃知神社～藤原宮跡～京都～東京駅

☆詳細については下記説明会にて

宮田太郎講師による「旅行説明会
並びに飛鳥古代ロマン学習会」
5月30日（火）15：30～17：30
会場/新宿住友ビル7階朝日カルチャーセンター（要申込）
〔申込〕朝日カルチャーセンター東京
TEL03-3344-2041（担当）志水

〔内容〕武蔵国府大国魂神社も青梅の御嶽神社も、稲城に現存する大麻止乃豆乃天神社という謎の神社も、そのルーツは飛鳥の天香具山にあって卜占（ぼくせん）に関わる神秘のベールに包まれた神々が祀られている！
―この事実は関東と飛鳥が直結し、かつ多摩がいかに古代において重要な場所であったかを物語っています。消えかけてしまった重要な秘密とは何なのか。そして奈良の春日大社の神“タケミカヅチ神”は関東の鹿島から勧請された事実、“フツヌシ神”が祀られた千葉の香取神宮と飛鳥の石神神宮の関係は何か。三輪や奈良という地名がある多摩丘陵の川崎市麻生区とその北はずれの北天祭祀をする香具山と関西の飛鳥・奈良との関わりは何か。等、これまで誰も気がつかなかった両地方の深い関わりを探っていきます。

■8月29日（火）日帰りバス旅行
八ヶ岳山麓の古代甲州道を探る
～清里高原でみつかった縄文人交易ルートと古代の大道の謎！～

[内容]武蔵府中と諏訪湖を結んだ古代甲州道の痕跡を航空写真から確認し、かつ現地で遺構を確認（1997宮田）したラインに沿って探索します。そこには果たしてどんな遺跡や史跡が並んでいるのでしょうか。八ヶ岳山麓の美しい里や面白い村、江戸時代に消えた村のミステリー、縄文人の息吹

きを感じる遺跡群、平安時代や鎌倉時代の武士団活躍の痕跡など知らなかった歴史が一杯です。
[コース]聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前に7：50集合（8時出発）～中央道～須玉ＩＣ～若神子の古道～若神子城～津金村の津金学校（昼食）～湯沢遺跡と直線古道跡散策～金生遺跡～乙事諏訪神社～稗ノ底村跡探検～井戸尻遺跡～小淵沢ＩＣ～国立府中ＩＣ～聖蹟桜ヶ丘駅
[参加費]6000円(昼食別途)

多摩から

全ての遺跡は道によって誕生した…。住居址など古代の歴史的な遺跡や遺構も「点」としてとらえると、ひとつのデータでしかないが、道という「線」で見ると思わぬ発見や展開があるものだ。その中でも今まで全く知られていない古代国道の痕跡が遠く長野県の諏訪湖周辺から、この多摩丘陵に達していた可能性がある。今回は歴史古街道団が今年踏査する予定の古代甲州道（こだいこうしゅうみち）と名付けた想定ルートを辿ってみよう。

直線的な大規模道路

道に関する文献や遺構が少ないので断言出来ないが、この道は古代大和律令国家が建設、あるいは整備した国道の一つと考えられる。
古代の都と東国各地を結んだ道路は、東山道遺跡に見られるように幅員１２㍍に及ぶ直線的な大規模道路であり、森を切り開き、山は切り通す朝廷の権力を示す高速道路であることがわかってきた。
現在の東海道は太平洋側を走るが古代国道は内陸の山野の中を通っていた。
奈良の都から東に向かった道はやがて諏訪湖に至り、八ヶ岳南麓から甲州盆地を抜けて大月へ、更に相模湖町～津久井（城山町）または二本松（相模原市）～橋本へ。武蔵国に入ると小山の久保谷戸（町田市）や多摩境の内裏峠で多摩の横山を越え～鑓水（八王子市）～松木郷（役所）を経て～和田古墳群～一ノ宮（多摩市・日野市）に寄り、多摩丘陵の市場において海と山の物産の交換をしてから、多摩川を渡り武蔵国府（府中）へ行ったのだろうか。

ラインに連なる遺跡群

この古代甲州道の予想ライン上には有名な縄文遺跡として知られる尖石・金生・井戸尻・釈迦堂遺跡などが並ぶことから、元来は長野県蓼科周辺の黒曜石を多摩丘陵に運び込む「縄文黒曜石ロード」だったと私は考えている。
多摩市和田の稲荷塚古墳と同緯度に並ぶ大塚古墳、むかし「塚っぱら」と呼

諏訪湖へ古代の往還路があった

それは、黒曜石を運ぶ古代の国道だった

歴史古街道団団長　宮田太郎

ばれ、石室を持つ円墳や横穴古墳が数多く点在していた和田の台地。そして古墳時代から戦国時代まで続く落川の大集落遺跡。これらが諏訪湖を経て甲州盆地から多摩丘陵にやってきた古代甲州道と密接に関係していることを相模原や山梨県等各所の遺跡踏査により確信するに至った。

八ヶ岳山麓古道と湯沢遺跡

私は八ヶ岳山麓で信玄の軍事棒道調査中、偶然に別の大きな一筋の線を航空写真から発見した。現地に立つとそれは数 10 キロにわたって西は諏訪湖方面へ、南は甲州盆地へ続く人工的な窪地が真っ直ぐに続いており身震いが止まらない感動を覚えた。今まで誰も気付かなかった巨大道路が存在していたのだ。しかも、この線上の湯沢遺跡では古代の役所跡が発掘されていた。

湯沢遺跡（高根町下黒澤）は中央高速道･須玉インターを降りた 141 号線脇の八ヶ岳南麓中央部、標高 610 メートルの広い高原台地の入り口にあった。

昭和 53 年（1978）工業団地造成の事前調査で発掘されたこの遺跡では、9 世紀前半～10 世紀を中心とした竪穴住居跡･堀立柱建物跡･櫓（やぐら）跡等と共に墨書土器･須恵器･皇朝十二銭の「隆平永宝」などが出現。建物配置から役所跡と見られ、隣接の遺跡からも土師窯や布目瓦が出土しており、湯沢遺跡を中心に周囲には瓦葺の仏堂が敷設され手工業生産も行うなど、逸見郷の中心集落だったと考えられてる。

一方、巨麻郡に設置された御牧の管理者（牧監＝もくげん）の役宅説もあるが、この遺跡は工場建設のため、既に消滅し説明板が立つのみである。

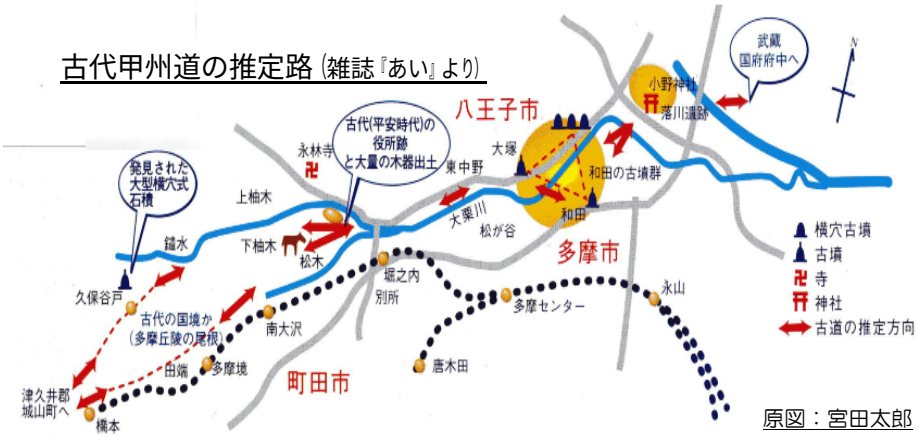
松木は古代の宿駅だったか?

私が古代甲州道の伝馬所があったと想定している八王子市松木（マツギ）で平成元年 8 月、奈良時代後半から平安時代の役所とみられる建物跡と文字の刻まれた大量の木器が出土した。武蔵国府関連の役所･郷（ごう）のひとつで周辺の木器生産を統括していた可能性があると考えられている。

多摩ニュータウンの区画整理事業で発見されたもので付近は標高 100 メートルの河岸段丘と谷、人家と栗林があった場所から 53,000 平方メートルもの遺跡が出現したのだ。

発掘物は墨書土器･土師器･須恵器･木器などで、木皿には「官」「全」「位」などの文字が刻まれていた。この一体は武蔵国府の管理下にあり、行政組織として郡･郷が置かれていたため、松木は当時の重要な街道の「拠点」だったと考えられている。私は、ここがマツギと濁点つきで呼ばれていることから、古代役所の宿駅「馬継ぎ（マツギ）」が地名になったのでは…と考えている。

古代甲州道の推定路（雑誌『あい』より）



原図：宮田太郎

【写真】古代甲州道が続く御射山遺跡
（蓼科高原八島湿原）

このように、遺跡を「道」という線の視点から見ると、多摩丘陵の松木遺跡（八王子市）と八ヶ岳山麓の湯沢遺跡（北杜市高根町）とが「一本の道」で古くから繋がっていたというロマンが見えてくるのだ。

＜宮田太郎団長、『あい』Vol.20 寄稿文より抜粋掲載＞

古代甲州道

原始～古代～中世の甲州道のこと。

武蔵国府と甲斐国府と諏訪湖を結ぶ古代の駅路を記録した平安時代の文献資料には見えないが、沿線には縄文時代以来の遺跡が濃厚に存在。関東平野部各地との交流が早くから盛んだったことを示している。江戸時代の地誌にも慶長時代の初期甲州街道やそれ以前からの往還道が記され、津久井から西の相模湖町、藤野、上野原、大月などの各所に鎌倉道の伝説や遺跡地が分布。八ヶ岳山麓高根町で発見された古代の役所跡（湯沢遺跡）と多摩ニュータウンの八王子市松木で発見された古代役所跡は同じ公道に置かれた可能性が高いとの説（宮田太郎１９９９年）がある。多摩ニュータウンの縄文～奈良平安時代遺跡が最も濃に分布するエリアは大栗川沿いでありこの松木の古代役所跡もその線上にある。相模野の座間市勝坂を指標地とする勝坂式という縄文土器の形式は八ヶ岳と多摩丘陵や武蔵野で共通し、八ヶ岳産黒曜石が多くもたらされていることは親戚関係あるいは濃厚な交流があったことを物語るのか。徳川家康も東海道と同等に甲州街道を重要視した政策や都市計画を実施した事実からも、公道として短距離であり移動･輸送上優れた路線であることを示している。

五柱神名地神塔について

調査研究部　奥村辰三

ウォーキングでよく見かけるのは、庚申塔・道祖神・地神塔・お地蔵さん・その他でありますが、特に地神塔は角形の石柱に力強い彫りの深い字が刻まれています。一般的には屋敷神や地神であったり、また地鎮祭の祭神であるなど、大地を神聖化することによって形成された神格です。

特に農家の間では、五穀豊穣を祈る農業守護神と考えられ、田の神に類似することがあります。地神塔の造立ピークは近世末期で、造塔数はほぼ共通していて、天明年間（一七八一～八八）を遡るものはありません。地神塔の種類については、地神と書かれたものや、仏教の天部である堅牢地神と書かれたものもあります。

五柱神名地神塔については、余り聞き慣れない名前のほか、数も少なく、皆様がウォーキングで立ち寄った神社或いはお寺、その他で気付かれた方は少ないのではないかと思います。五画形の石柱或いは六角形の石柱の五面にそれぞれ神の名が書かれています。

天照皇大神（アマテラスオオミカミ）
大己貴命（オオナムチノミコト）
少彦名命（スクナヒコナノミコト）
埴安姫命（ハニヤスヒメノミコト）
倉稲魂尊（ウガノミタマノミコト）

では、どのようにして五柱神名地神塔が造られたのかと申しますと、この神名表記は、関西方面の阿波や淡路の地神塔と同一であって、創始者は阿波の早雲古宝という人が布教活動で、寛政元年（一七八九）に開始されたと言われておりますが、この布教活動が何故関東にまで及んだか？その理由は、地神信仰の流布が支配者の指示を受け、農業政策と密接に結びついたと考えられます。

しかし、不思議なことに、早雲古宝が布教を開始した三年程前、即ち天明六年（一七八九）には、既に相模の上曽我（現小田原市）で五神名を書いた六角柱が造立されておりますので、早雲古宝が創唱者だという説には疑問が残ります。

いずれにしても、天明とか寛政という時代は、近世の農村社会が崩壊に瀕し、そして再建されるひとつの転換期だったから、地神塔造立という信仰行為で、飢餓を乗り切ろうと、一般民衆は考えたのかもしれません。

【写真】鶴巻温泉、延命地蔵近くの大欅の下の五柱神名地神塔　（伊勢原市　落幡）

MEMBER'S SALON

団話室

【団報を読んでひとこと】

○古街道＋多摩の古城址等も取り入れていただけたらと思います。青梅、五日市方面のイベントを組んで下さい。（多摩市、61歳、男）

○寒い冬はこもりがちでしたが、待っていた古道ニュース４号の到着で早くも春到来の思いがしております。今年の予定表の中から行けそうなのをカレンダーで調べたり楽しんでおります。なるべくニュース紙を度々いただけると良いのですが（無理でしょうが）。私は地元ではないのでこれ以外の情報はありませんのでどうぞよろしく。（西東京市、81歳、女）

○今後の予定は日程だけでも早目にいただければウレシイ！宿泊行事の料金は、年金生活者に配慮してくれるとウレシイ！（多摩市、65歳、男）

○地方のロマンの旅、ウィークディーは参加が難しいです。退職後を楽しみにしています。でも何とか年に１回くらいは参加したい。（大和市、69歳、男）

○参加する意欲はありますが、日程の調整がつかず悩んでおります。曜日の特定など月単位のスケジュール編成は無理でしょうか？（八王子市、74歳、男）

○鎌倉迄歩くプランを計画して欲しい、3～4回に分けて。（多摩市、65歳、男）

○古道について、今まで“意識”を持っていませんでしたが、周りに歴史があり、古道があり、それが歴史を結びつけている。楽しい集団であり、運営が暖かく、非常に参加しやすい。（八王子市、69歳、男）

○やはり一般の旅行会社では体験出来ないような企画、計画があり嬉しいと思います。何の変哲もない場所に思いもかけない歴史が秘められている事など興味津々です。特に防人のロマンなど古代への熱意がわきあがり素晴らしいと思います。（八王子市、64歳、男）

【団報４号を読んで全体の印象は？】

○大変良く出来ており編集者のご苦労に感謝です。欲を言わして頂くなら、会員の行事感想文＆歴史研究の随筆などが載ると尚ウレシイ！（多摩市、65歳、男）

○最後の表になっている部分がわかりやすくありがたかった。（座間市、39歳、女）

○参加した防人まつりの写真など沢山のっていて楽しく、あの日の興奮を思い出しました。新聞のコピーも良かったです。うちは朝日新聞武蔵野版でこの記事はありませんでした。（西東京市、81歳、女）

○残念ながらさきもりまつりに参加出来ませんでしたが、送って下さった2005報告を拝見してさきもりまつりの楽しさや素晴らしさが伝わって来ました。（横浜市、64歳、女）

○レイアウトがすっきりしていて、とても読みやすいです。編集者のセンスの良さをじます。（城山町、62歳、男）

○読み易い。①紙質と印字の質が合致している。②字の大きさ、字の鮮明さが良い。（大和市、69歳、男）

○号を追うごとに内容が充実されていくのが嬉しい。（八王子市、74歳　男）

○予算の関係があるかも知れないが写真の色刷りがあったら最高です。特に防人などはさらに歴史ロマンを誘ってくれるでしょう。予定の一覧表、分かり易く、非常に良い。（町田市、78歳、男）

道との遭遇（であい）　③中学校時代
～円盤太郎と呼ばれた頃～
宮田　太郎

「学校中を掘ってみたいです！」「よし、太郎！学校中を掘ってもらおうか！」東京都町田市にある玉川学園中学部受験の面接はこんな調子で終わった。昭和46年4月、小学校卒業時の夢が「考古学者になること」だった私は、校内に遺跡が豊富に眠っているといわれる当学園の中等部に入学。自由な校風だが、学校生活はキリスト教教育。礼拝・聖書を読み、毎日歌をうたい、労作教育として、畑仕事や木工工作、当時は円形劇場を造る作業をするなどの学問以外のことにも力を入れている学校だった。入学後は、入試面接で宣言した通り、広大な敷地の隅々の山林を調べてまわり遺跡地図を作った。ついでに山道の上に落とし穴も作ったが、そこは今思えば鎌倉道の一つだったのである。

やがて地下への興味は妙な方向に。学校の教室の下に複数の部屋と地下回廊を造ることに目覚めてしまい、放課後になると小田急線のトンネル脇に友達数人と横穴を掘り進めたのだった。しかし数カ月後に先生に発見され中止。それから何代も後輩たちが続けて掘り、完成間近で落盤事故の危険が出て閉鎖されたと聞いている。今でも小田急線の玉川学園トンネルを電車で通過する時はついつい崖の上を眺めてしまう。

学校の空飛ぶ円盤研究発表会で父と

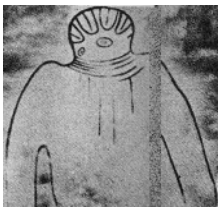
中学では、考古学と鎌倉時代研究で著名な多賀譲治先生に社会科の授業を教わった。先生は玉川学園でも有名な元いたずら生徒で、僕らより前に落とし穴を学校周辺に作り続けていた先駆者だった。その先生が授業中に「お前たち、歴史の流れる音を聞いたことがあるか！歴史とはゴウゴウという音がするんだぞ！」と話された言葉が印象深く残った。

ある日、いつものように土器拾いに出掛けた小山田大泉寺の山門の前でその迫力に魅せられて柱に手をかけ、門の上を眺めていた時だった。上を見続けていたせいで軽いめまいがしたのかゴウゴウという音が聞こえたように思い何かが目覚めた。それから30年近く後に、この寺域全体を特別に草刈させて戴き、小山田城の精細なる城郭図を作成し、未確認だった複雑な遺構の存在を報告する立場になるとは当時は思いもつかなかったが。

多賀先生の歴史教室は興味尽きない怪しげな所で、埃っぽい古い棚の中に何片かの縄文土器片が無造作に転がっていた。その一つを手にとっているとき変わった形をした土偶のようなものを見つけた。これは本で読んだアフリカ・タッシリニジェールの壁画「火星からの軍神」にそっくりだったのであった。

多賀先生に許可を戴き持ち帰って調べると、壁画はいわゆる古代にアフリカに来た宇宙人ではないかとまでいわれていることを知った。多賀先生の話しでは町田市広袴で出土し、土偶のような土器は顔面杷手といって土器の壷の縁に飾られた造形で、動物や架空の神を象ったらしい。しかし何だかんだでいろいろな方に勧められて気が付くと空飛ぶ円盤研究では草分けの荒井欣一先生宅にその土器を持ち込み弟子入りと相成った。当時の会は三島由紀夫（既に 2 年前に没）、星新一、小松左京、手塚治虫、平野威馬雄氏（平野レミ・父）など錚々たるメンバーの会で、最年少研究者として出入りさせて頂いた。中学2年生で考古学部から「天文部」に移籍。空飛ぶ円盤の研究発表を中等部で発表し 2 年連続で賞も頂き、いつしか円盤太郎とあだ名された。また、よく礼拝堂でお話をして下さった新教育の聖人・故・小原國芳学長（当時）が大勢の先生方と共に私の展示を見に来られたその前で「イエスキリスト宇宙人説」を解説したのは僕ぐらいだろう。今思い出すと卒倒しそうである。

以降「空飛ぶ円盤」熱は上昇。父兄・職員の前での講演、後には東急百貨店で全国から集まってきた円盤と称する怪しい写真の鑑定係りをしたり、NHKの子供番組ではイオンクラフトという高電圧円盤の飛行実験を披露。もう少し後だがUFOディレクター矢追純一氏の講演助手としてスライド係もしたことがあった。世界中の目撃報告を集めたり、日々夜空を眺めていたそんなある日の新聞取材で、今は亡き母は「いつかうちの子は円盤に連れて行かれるのではないかと心配です。」と答えている。地中への関心と空への関心が交錯していた少年時代の良き思い出である。しかしながら、あの宇宙人土偶は当時人気者だった自称・宇宙考古学者K氏にオーストラリアに鑑定に出すといって持ち出されてから14年間も戻ってこなかったのだが、その人も亡くなり、今は我が家の怪しげな棚の一つに戻って収まり、何だかほっとしているかのようだ。


㊧ジャバレン山中の壁画“火星からの軍神”
（北アフリカ・アルジェリア）

㊨縄文土器の杷手
（東京都町田市・出土）

○写真が沢山あり、また適切で分かり易く、良い編集だと思います。（八王子市、69 歳、男）
○良くできていると思います。読みやすく要領よくまとめられているので頭に入りやすい。南大沢の歴史、絹街道や鮎の道、太田川、大栗川の源流、戦車道路、相模の国分寺瓦の製造跡なども知りたいと思ってます。（八王子市、64 歳、男）

☆たくさんのご意見・ご要望を有難うございました。
今後の活動に活かしていきたいと思います！

２００６年度定期総会
■5月27日（土）　14：00～16：30
■会場：多摩市立関戸公民館・大会議室
＜VITA：8F／聖蹟桜ヶ丘駅西口から徒歩3分＞
☆第一部　総会　14：00
☆第二部　研究発表会　15：20
①さきもりが向かった地、大宰府付近の遺構
--趣味の世界でのパソコンの活用--
金子　功（団員・日本城郭史学会会員）
②壱岐・対馬と防人が立った最果ての山
宮田太郎(団長・歴史古街道研究家)
※出欠のハガキは早めに投函してください
※新規入団希望者の出席大歓迎
（第二部からの参加になります）

歴史ロマン古道予定表（詳細はご希望の方は又は☆または事務局まで☆

月日	集合場所･時間	探索・学習テーマ	参加費	申込み	問い合わせ先
5月16日(火)	小田急線／栗平駅 改札前　09:45	真光寺の飯守神社と鎌倉街道早ノ道	800円／人 (資料代含む)	当日	鎌倉古道さとびとの会 （遠藤）TEL042-376-1122
5月27日(土)	多摩市立関戸公民館 大会議室(VITA8F) 14:00	【総会】歴史古街道団２００６年度総会	―	当日	歴史古街道団長宮田 Tel042-389-5534
5月30日(火)	新宿住友ビル７階朝日カルチャーセンター15:30	【学習・講演会】旅行説明会並びに飛鳥古代ロマン学習会	3,250円／人	５月29日 〆切	朝日ｶﾙﾁｬｰｾﾝﾀｰ東京 TEL03-3344-2041(志水)
6月４日(日)	小田急･京王線／永山駅 小田急改札前　９:00 または、現地　10:00	多摩古道・探索ウォーキング【兼ガイド実践講座】 古街道の集まる野津田の丘“古街道の切通し” 「華厳院坂の鎌倉古道と古代東海道跡を守ろう！」	700円／人 (共通参加事項)	当日	歴史古街道団長宮田 Tel042-389-5534
6月７日(水)	JR八高線／毛呂駅 改札口前　10:00	毛呂山の鎌倉街道と出雲伊波比神社の里をゆく	隊員:700円／人 一般:1,000円／人	当日	歴史街道探検隊長宮田 Tel042-389-5534
6月13日(火)	田園都市線／二子新地駅 改札前　10:00	溝口の大山道と宗隆寺	800円／人 (資料代含む)	当日	鎌倉古道さとびとの会 （遠藤）TEL042-376-1122
6月22日(木) ～ 6月23日(金)	京都駅（東京も可）	【１泊２日旅行】飛鳥まほろばの里・歴史古道の旅 【主催】朝日カルチャー・郵船トラベル（株） 【企画協力】歴史古街道団・宮田太郎	約55,000円／人 （宿泊・現地費用）	６月8日 〆切 (先着順)	朝日ｶﾙﾁｬｰｾﾝﾀｰ東京 TEL03-3344-2041(志水)
6月28日(水)	ＪＲ横浜線／橋本駅 改札口前　９：45	幻の『古代甲州道』を探る「その４」 ～多摩から奈良の都へ、もう一つの古代国道～ ［橋本・森の上～相模川清流の里・諏訪神社編］	700円／人 (共通参加事項)	当日	歴史古街道団長宮田 Tel042-389-5534
7月５日(水)	小田急線／箱根湯本駅 改札前　９:45	箱根の鎌倉街道、湯坂路を歩く	800円／人 (資料代含む)	当日	鎌倉古道さとびとの会 （遠藤）TEL042-376-1122
7月11日(火)	小田急・京王線／多摩センター駅 小田急改札前　９:30	多摩古道・探索ウォーキング 古街道の里“小野路”徹底研究！ その深い歴史を知ろう！「その１」 ［東京都町田市小野路編］	700円／人 (共通参加事項)	当日	歴史古街道団長宮田 Tel042-389-5534
7月17日 (月・祝)	ＪＲ総武線／市川駅 改札前　10:00	市川国府台と下総国府・真間の手古奈の古道を探る	隊員:700円／人 一般:1,000円／人	当日	歴史街道探検隊長宮田 Tel042-389-5534
7月23日(日)	京王線／調布駅北口 パルコ１Ｆ入口前　９:30	歴史ロマン・探索ウォーキング 深大寺の鎌倉道と高句麗仏教伝説ロマンを探る ［東京都調布市深大寺付近編］	700円／人 (共通参加事項)	当日	歴史古街道団長宮田 Tel042-389-5534
8月５日(土)	小田急･京王線／多摩センター駅 小田急改札前　12:30	【団員サマー交流会】 小野路を学び・語り・遊ぶ大人の夏休み 〔INピアノカフェ〕（団員のみ、先着４０名）	1,500円／人 （飲み物付き） （食事なし）	Faxまたは直接 (先着順)	歴史古街道団長宮田 または企画部小島 Tel042-389-5534 Fax:042-337-4291
8月13日(日)	たま・まち交流館　13:30 多摩センター・三越向かいワーナーマイカル地下１Ｆ	【さきもりまつり２００６参加者説明会】 ～あなたが防人そして見送る妻になる～ 万葉時代まつりＩＮ多摩　準備会始動！	500円／人 (お茶代･会場費)	当日	歴史古街道団長宮田 Tel042-389-5534
8月29日(火)	京王線／聖蹟桜ヶ丘駅 西口改札前　７:50	【バスツアー】八ヶ岳山麓の古代甲州道と棒道の跡を探る（先着:27名、最少催行人数:21名）	6,000円／人 （昼食は別途）	８月15日 〆切 (先着順)	歴史古街道団長宮田 または企画部小島 Tel042-389-5534 Fax:042-337-4291
9月２日(土)	ＪＲ横須賀線／鎌倉駅 東口改札前　10:00	鎌倉の宝物館と元若宮神社の海岸散歩	隊員:700円／人 一般:1,000円／人	当日	歴史街道探検隊長宮田 Tel042-389-5534
9月10日(日)	たま・まち交流館　13:30 多摩センター・三越向かいワーナーマイカル地下１Ｆ	【さきもりまつり２００６参加者合同会議】	500円／人 (お茶代･会場費)	当日	歴史古街道団長宮田 Tel042-389-5534
9月23日 (土・祝)	小田急線／唐木田駅 改札前　10:00	多摩古道・探索ウォーキング 小山田の奥州古道と大泉寺の歴史ロマンを歩く ［多摩市唐木田～町田市小山田編］	700円／人 (共通参加事項)	当日	歴史古街道団長宮田 Tel042-389-5534
9月29日(金)	小田急線／柿生駅 東口改札前　９:30	王禅寺の鎌倉古道と鶴見川流域散策	800円／人 (資料代含む)	当日	鎌倉古道さとびとの会 （遠藤）TEL042-376-1122

■２００６年度、年会費納入を受付中です

2006 年度の団員募集が３月から始まっています。新規入団希望の方は住所・氏名・電話番号を明記の上、下記口座へ年会費 3,000 円をお振込みください。団員の方で更新の年会費（3,000 円）を未納の方はお早めに納入願います。

(2006 年度＝２００６年４月１日～２００７年３月３１日)

☆古街道団郵便振替口座番号･･･

００１４０―７―４４５１９５

■歴古団(REKKODAN)サポートメイト大募集 ！

古街道団のイベントに協力出来る方を募集して

います！あなたのお力･お知恵をお貸しくださ**い！**

編集後記

新緑のさわやかな季節となりました。「歴史古街道団」も正式発足から２年目を迎え、団報５号の発行にこぎつけました。Word での編集は毎回新しい可能性を探りながらの挑戦です。限られた紙面の中で少しでも皆様のご意見ご要望にお応えできる団報をめざして頑張っています。現在編集部では広報編集に興味のある方、パソコン操作に詳しい方など、ご協力いただける方を募集中です！

発行責任：歴史古街道団編集部（河村・三好・金子・遠藤）

【発行】歴史古街道団
事務局：〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘 4-36-21 APT1･2･3-302
宮田太郎（歴史古街道団団長） TEL/FAX ０４２-３８９-５５３４
http://homepage3.nifty.com/kokaido/